

特定湖沼等環境保全事業について

環境管理課

1 事業の目的

昭和60年頃からCODの環境基準超過や、透明度の低下が生じている十和田湖及び平成14年以降、玉川源泉の酸度上昇の影響によりpHが低下している田沢湖について、水質改善に向けた取組を行う。

2 事業の概要

(1) 十和田湖環境保全対策事業 275千円

十和田湖の水質改善等については、平成13年に青森・秋田両県が策定した「十和田湖水質・生態系改善行動指針」に基づき進めており、これまでの調査・研究で蓄積された結果を踏まえ、検討会を設置し、同指針を改定する。

○ 十和田湖水質保全検討会（仮称）

有識者4名（両県各2名）、3回開催

(2) 田沢湖水質保全対策事業 2,472千円

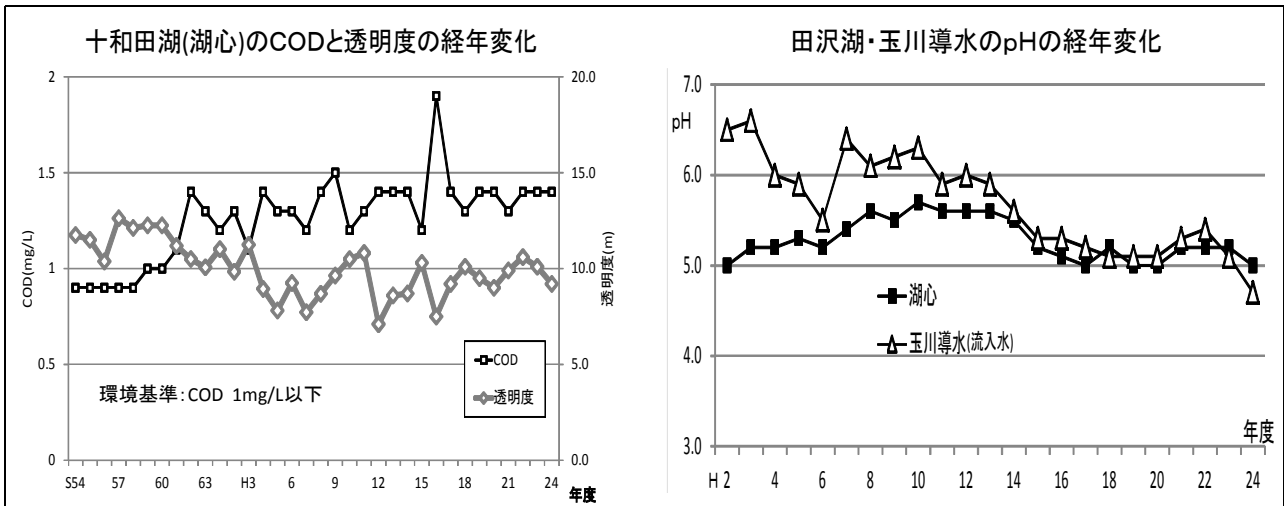
平成24年度に設置した「田沢湖水質改善検討会」の意見を踏まえ、現在用いている石灰石より中和効果の高い中和材（酸化カルシウム）を用いた中和実証試験を実施し、効果を検証する。

○ 玉川酸性水中和改善技術実証試験

- ・調査地点：9地点（別図参照）
- ・測定項目：水質及び中和沈殿物（pH、鉄、アルミニウム等 13項目）
- ・調査時期：8月下旬予定

3 予算額

2,747千円



田沢湖水質改善検討会の意見(要旨)

1 玉川酸性水の中和方法

生石灰など、石灰石以外の中和材について、中和効果、コスト、技術的課題について調査する必要がある。

2 弱酸性成分の挙動

玉川酸性水に含まれる弱酸性成分(鉄イオン、アルミニウムイオン)について、挙動を調査する必要がある。

3 田沢湖水質改善後の課題

将来、田沢湖の水質が改善された場合、新たが生じる課題と、その対策等について検討する必要がある。

玉川酸性水中和改善技術実証試験 調査地点(①~⑨)

